

# 全学共通科目言語B連続企画 「世界を知ろう！」ドイツ語講演会

## 僕らは銃の代わりに 言葉を手にする

日時：2024年1月15日（月）17：15～19：00

場所：池袋キャンパス14号館D501教室

講師：鈴木克己氏

（東京慈恵会医科大学医学部 初修外国語研究室 教授）

ドイツには様々な理由で、中東や東欧から移民がやってきています。世代を重ねるうちに、作家になる人も現れ、そのような視点から見た世界の姿がつつられています。今回は移民文学を専門的に研究している鈴木克己先生をお招きし、講演を通して激動の時代に外国語を学び、他者を理解する意義を考えましょう。

講師略歴：1964年生まれ。1996年 中央大学  
大学院博士後期課程退学。専門：現代ドイツ文学  
主な著作：『記憶の残像、あるいは我らの鏡像 –  
シエルコ・ファタハ『白い大地』について–』  
『Father land / Mother tongue ドイツ語作家  
シエルコ・ファタハにおける祖国と言語』  
『イリヤ・トロヤノフ『世界収集家』に見る越境  
の諸相』

外国語を学ぶことは、遠方から放った弾で見知らぬ人を倒すことではなく、  
心を開いてその人のもとへ近づくことなのだ。

主催：全学共通カリキュラム運営センター ドイツ語教育研究室

### ワタン (祖国)とは何か

中東現代文学におけるWatan/Homeland表象



科学研究費補助金基盤研究B(2015-2018)  
現代中東の「ワタン(祖国)」的心性をめぐる表象文化の発展的研究(代表:岡真理)  
成書報告書